

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
池田町ことばの教室		R7年 9月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		同じ時間帯のお子さんの支援と重ならないように職員間で話し合い部屋を決めている 個室が使えなくても広い空間に仕切りを入れ視覚的に入らないようにしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	保護者支援、連携、指導、書類などの仕事を考えると時間が少ない 今後担当利用時の人数が増えると時間内には仕事が終われない支援を必要としている子どもの人数が増えているので職員数も増えると良い	書類を簡素化できるようにすることが一番の解決策ではあるが子どもの資料だけに難しさもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	モップや掃除機をかけ部屋をきれいにしている 指導後使用した物はすぐに元の場所に戻している 清掃が行き渡ってない所もある	時間を作り清掃していく 職員一人一人が時間を作ることを心がける
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	個人差があるが毎朝の朝礼やお昼になるべく子どもの様子などを話すようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日朝職員全員が一日の流れや食事の時に子どもとの関わりの様子を話す時間を設けている また毎月の職員会の中 事例検討や研修参加の内容などについて話している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		公開指導を行うことで助言などを頂き 支援の振り返りができるようにしている 相談支援従事者の方にも指導の様子を見てもらうようにしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		確保されているが参加には個人差がある 時間を見つけて研修を受けている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		計画を渡す時には目標や具体的な所を保護者に伝え渡すようにしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		子どもの様子など話し合い一人の意見でなく多角的な面からも意見を出し合い作成している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで話し合っている	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動の振り返りを行い 遊びも同じではなく ステップアップできるよう話し合っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		前回の指導後に反省会を行い指導前には環境整備 教材配置確認をしながら活動を再確認してから行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後すぐに集団リーダーが振り返りを行うようにしている 自分以外の目から見た子どもの様子を聞くことで気づけなかったことや共感し合うことで振り返ることができ次の支援へと繋げることができている 話し合うことで違った視点からの気づきに繋がっている 話し合ったことを記録に残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		必ず担当者と話している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		健診に参加したり通院先に同行し連携している 事業所が官公庁関係なので福祉課や保育園との連携は取りやすい	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		記録のノートを通園先の先生方にみて頂けるよう保護者の方に声かけしています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者の方と共の学校見学や行事等で交流共有させて頂いている 各学校のコーディネーターの方に夏休みを移用して子ども達の活動の様子を見て頂いている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	5			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5		圏域発達支援センターの先生に訪問して頂き助言を頂いたり 研修会で勉強させて頂いています	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		園行事（休日の）を見せて頂いたり 定期的に園訪問などを行い全職員に様子などを伝えている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		ノートに保護者の方が記入して頂くことが多くありがたい 直接お話しできるときに家庭の様子や日頃の様子を尋ねている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ほとんどの保護者の方が動いてみえ当教室での開催では参加できる方がほとんど無いため講習会などの案内をさせて頂いている グループでのペアトレは行ってはいないが 個に合わせた対応を一緒に考えずめている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約の時に話している 運営規程は室内に掲示し常に保護者の方に見て頂いている	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		毎回指導後に子どもの様子を話すようにしている ノートを活用し情報を頂く中 必要に応じて時間を設け支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		控え室の利用や行事等で 保護者同士が関われるようにしている 今年度も 遠足 お楽しみ会 運動会 クリスマス会 おもちつきなど親の会と共に活動を計画している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		支援後の話だけでなく必要に応じ時間を設け行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月お便りを発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		外国籍の方などには携帯アプリなどを利用し意思疎通が図れるようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域の行事（運動会・福祉フェア）などに参加することや行事にはボランティアを要請し交流を図るようにしている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保護者の控え室にも閲覧できるようにしている 季節ごとの病気などお便りや掲示で行うようにしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を作成し持ち物や名簿など定期的に見直しを行い 避難については職員で確認している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食事などの提供は行っていないが 親の会の行事など必要に応じ保護者に尋ね 通院している子達にはサイドチェックするようにしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		屋内・屋外の環境整備の確認を行うようにしている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		教室への行き帰りなど手をつなぐことやシートベルトの確認など保護者へも伝えている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが生じたときはその日のうちに全職員に話し対応するようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を受けている 職員間でも指導での関わり方などについて話し合っている 各部屋マジックミラーなので指導が誰でも見られるようにしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束する事案は今のところ発生していないが 常に職員間で身体拘束について学び関わり方について振り返るようにしている	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。